

母べえ (2007)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 132分

初公開日 2008/01/26

公開情報 松竹

【キャッチコピー】

何もなくても、母の手があった。

悲しくても、母の胸があった。

【解説】

黒澤明作品のスクリプターとして知られる野上照代の自伝的小説『父へのレクイエム』（改題『母べえ』）を、「男はつらいよ」「武士の一分」の山田洋次監督が吉永小百合を主演に迎えて映画化した感動の反戦ヒューマン・ドラマ。ある日突然夫が治安維持法で投獄されてしまうという苦境の中で、夫を信じ続け、つつましくも気高き信念を失わず、残された2人の娘を守るため懸命に生きた一人の女性の姿を描く。

昭和15年の東京。野上佳代は、愛する夫・滋と2人の娘、長女の初子と次女の照美と共に、つましいながらも幸せな毎日を送っていた。互いに“父（とう）べえ”“母（かあ）べえ”“初べえ”“照べえ”と呼び合い、笑いの絶えない野上家だったが、ある日、突然の悲劇が一家を襲う。文学者である滋が、反戦を唱えたことを理由に特高刑事に逮捕されてしまったのだ。穏やかだった生活は一変し、不安と悲しみを募らせる母と娘たち。そんな中、滋のかつての教え子・山崎や滋の妹・久子、放埒で型破りな叔父・仙吉らが一家のもとに駆けつけ、佳代と娘たちを優しく親身に支えていく。

【クレジット】

監督 山田洋次

プロデューサー 深澤宏
矢島孝

原作 野上照代

『母べえ』（オリジナル題『父へのレクイエム』）

脚本 山田洋次
平松恵美子

撮影 長沼六男

美術 出川三男

編集 石井巖

音楽 富田勲

ソプラノ 佐藤しのぶ

照明 中須岳士

録音 岸田和美

出演 吉永小百合

野上佳代

浅野忠信 Tadanobu Asano 山崎徹

檀れい 野上久子

志田未来
佐藤未来
中村梅之助
笹野高史
でんでん
神戸浩
近藤公園
茅島成美
松田洋治
赤塚真人
吹越満
左時枝
小林稔侍
鈴木瑞穂
倍賞千恵子
戸田恵子
大滝秀治
笑福亭鶴瓶
坂東三津五郎

野上初子
野上照美
藤岡久太郎

野上照美（大人）
野村医師
藤岡仙吉
野上滋